

各会計の決算額 (単位：千円)

	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	15,489,880	14,700,671	789,209	116,241	672,968
特別会計 (保険料などの特定収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。)					
国民健康保険特別会計	3,377,887	3,200,447	177,440	0	177,440
後期高齢者医療特別会計	294,379	293,935	444	0	444
産業団地整備事業特別会計	3,530	221,640	△ 218,110	0	△ 218,110
農業者労働災害共済特別会計	4,380	3,534	846	0	846
企業会計 (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	803,754	789,533	14,221	0
	資本的収支	83,209	284,852	△ 201,643	11,352
工業用水道事業会計	収益的収支	11,034	10,382	652	0
	資本的収支	0	0	0	0
公共下水道事業会計	収益的収支	919,696	907,708	11,988	0
	資本的収支	907,880	1,236,224	△ 328,344	105,322
農業集落排水事業会計	収益的収支	50,922	49,657	1,265	0
	資本的収支	12,213	27,856	△ 15,643	0

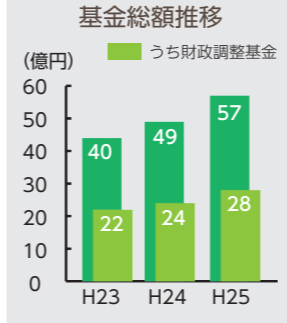
平成25年度 決算

問合せ
財政課
73-8008

一般会計では、給食センター整備事業や複合生涯学習施設（金津本陣IKOSSA）整備事業などの大型事業実施により、歳入歳出とも前年度を大きく上回る決算額となりました。

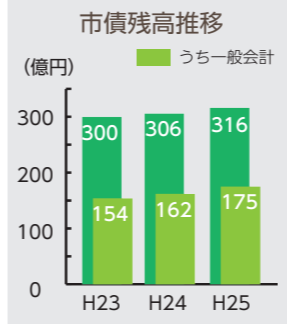
市の貯金 — 基金残高

現在15種類ある基金（貯金）の総額は、約57億2400万円となっています。そのうち48・9%を占めるのが市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。



市の借金 — 市債残高

市の借金である市債の現在高は約316億円です。増加の理由は、給食センター整備事業などの借り入れを行ったためです。公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。



一般会計歳入決算額

154億 8988万円

(対前年度比 10.7%増)

一般会計歳出決算額

147億 67万1千円

(対前年度比 10.3%増)

スイーツマルシェ
310万円

複合生涯学習施設整備事業
5億 271万円

温泉情緒あふれる華やぎの
まちづくり事業
1億 7664万円

主な事業 の 決算額 (一般会計)

給食センター整備事業
12億 6672万円

がん検診
2065万円

市制施行 10周年記念事業
271万円

あわら市・紹興市友好都市締結
30周年記念事業
283万円

子ども医療費助成事業
6343万円

歳入

41.7%

- 市税 (31.2%)
48億 3262万 2千円
市民の皆さんが納めたお金
- 市債 (15.9%)
24億 6222万 3千円
国や金融機関などから借り入れたお金
- 県支出金 (4.9%)
7億 5716万 7千円
市の事業に対して県から交付されたお金
- 国庫支出金 (12.3%)
19億 1159万 5千円
市の事業に対して国から交付されたお金
- 地方譲与税 (0.8%)
1億 2085万 9千円
国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金
- 地方交付税 (21.4%)
33億 2163万 7千円
市町村の規模に応じて国から交付されたお金
- その他の交付金 (3.0%)
4億 5703万 5千円

- 分担金及び負担金 (2.0%)
3億 404万円
保育料や小中学校の給食費など、特定の利益を受ける人が負担したお金
- 使用料及び手数料 (1.1%)
1億 6781万 5千円
施設の使用料や住民票の発行手数料など
- 繰越金 (4.2%)
6億 5344万 7千円
前年度から繰り越されたお金
- 諸収入 (2.8%)
4億 3361万 4千円
貸付金の元金収入など
- 財産収入など (0.4%)
6782万 6千円
市有地などの貸付料や寄付金、基金（貯金）を取り崩したお金など

歳出 (性質別)

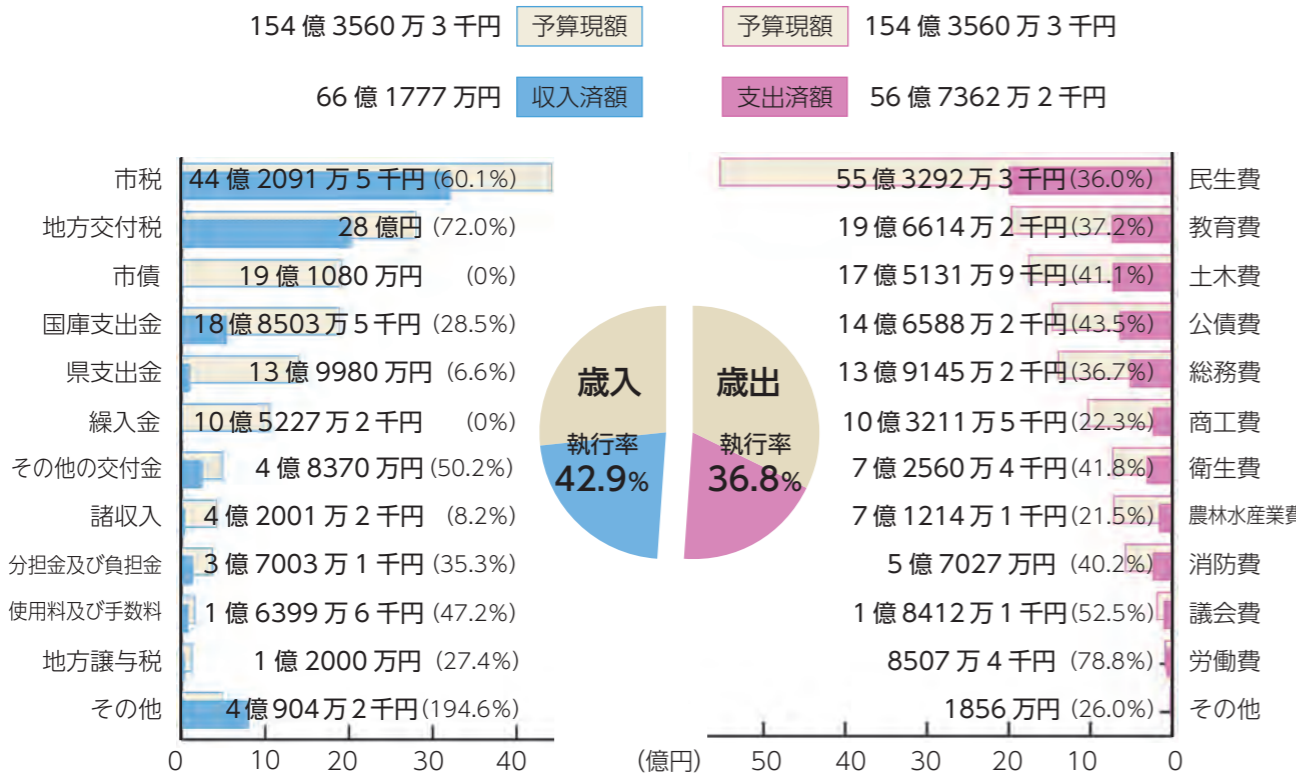
59.3%

- 人件費 (14.1%)
20億 7900万 6千円
市長や議員、職員の給料や手当など
- 物件費 (10.9%)
15億 9083万 4千円
物品の購入や光熱水費、燃料費、委託料など
- 維持補修費 (0.5%)
6995万 6千円
庁舎や公共施設などの修繕費
- 扶助費 (16.6%)
24億 3700万 7千円
生活保護や児童手当など
- 補助費等 (17.2%)
25億 3214万 6千円
負担金や補助金など
- 投資的経費 (19.5%)
- その他の経費 (21.2%)

- 貸付金 (1.1%)
1億 5570万円
中小企業や市民への資金融資など
- 積立金 (4.4%)
6億 5257万円
基金（貯金）への積立金
- 公債費 (9.3%)
13億 7016万 4千円
市債（借金）の返済金
- 普通建設事業費および災害復旧事業費 (19.5%)
28億 7175万 1千円
道路や橋、公共施設などの整備および災害復旧費
- 繰出金 (6.4%)
9億 4153万 7千円
特別会計への補助

平成 26 年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (平成 26 年 9 月末現在)
 グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



* 予算現額には平成 24 年度・平成 25 年度からの繰り越し分を含んでいます。

歳出を目的別で見た決算額と市民 1 人当たりの決算額

* () 内は 1 人当たりの決算額。平成 26 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口 (2 万 9529 人) で計算しています。

民生費 40 億 8152 万 1 千円 (13 万 8221 円) 保育所運営、 障害者・高齢者対策など	教育費 31 億 3056 万 6 千円 (10 万 6017 円) 学校、公民館、 体育施設など	公債費 13 億 7016 万 4 千円 (4 万 6401 円) 市債 (借金) の返済
土木費 13 億 581 万 1 千円 (4 万 4221 円) 道路、橋、公園、市営住 宅の整備や維持管理など	総務費 12 億 3481 万 9 千円 (4 万 1817 円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など	衛生費 7 億 8126 万 6 千円 (2 万 6458 円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など
商工費 7 億 6349 万 8 千円 (2 万 5856 円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など	農林水産業費 5 億 7731 万 3 千円 (1 万 9551 円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など	消防費 5 億 1538 万 8 千円 (1 万 7454 円) 消防施設や災害対策など
議会費 1 億 8168 万 9 千円 (6152 円) 議会の運営	労働費 9218 万 9 千円 (3121 円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	その他 6 億 6644 万 7 千円 (2 万 2569 円) 基金 (貯金) への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、前年同様に民生費が全体の 4 分の 1 以上を占めています。これは、保育所運営や児童手当、医療・介護保険、生活保護などの福祉事業の比重が大きいためです。

歳出決算額 (目的別)
 147 億 67 万 1 千円
 市民 1 人当たりの決算総額
49 万 7838 円



冬の備えは大丈夫ですか？雪を克服して快適な冬に！

【雪に備える週間 12 月 1 日～7 日】

冬を迎えるにあたってのルールやマナーについて
 みんなで話し合い、協力して雪対策を進めましょう。

- 気象情報などに十分注意し、大雪警報などが発表された場合にはなるべく外出を控えましょう。
- 路上駐車は除雪の妨げになりますので、絶対にやめましょう。
- 降積雪時におけるマイカーは控え、公共交通機関を利用しましょう。
- 降積雪時には必ずスノータイヤやチェーンを装着しましょう。
- 除排雪された道路への雪の投げ捨てはやめましょう。
- 車の上に積もった雪はしっかりと取り除いてから運転しましょう。
- 水道水を融雪に使わないようにしましょう。
- 一斉屋根雪おろしなど、地域ぐるみで除排雪をしましょう。
- 屋根雪おろし中の転落事故や小型除雪機械による事故に十分注意しましょう。
- 一人暮らし老人宅などの除排雪など、ボランティア活動に参加しましょう。
- 生活道路、歩道、バス停付近や防火水槽、用水路付近の除排雪に協力しましょう。
- 除雪作業の際には、防寒や水分補給に注意するなど、健康管理に気を付けましょう。
- 各家庭で耐雪用品を含めた非常持ち出し品を準備しましょう。

問合せ 建設課 整備管理 G ☎ 73-8031



あわら市の 健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率

区分	早期健全化基準	財政再生基準	H 25
実質赤字比率	13.65%	20.00%	(赤字なし)
連結実質赤字比率	18.65%	30.00%	(赤字なし)
実質公債費比率	25.0%	35.0%	10.5%
将来負担比率	350.0%	(基準なし)	35.7%

* 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市において適用される基準です。

資金不足比率

会計名	経営健全化基準	H 25
産業団地整備事業特別会計	20.0%	13.7%

* 水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水事業会計は資金不足が発生していません。

平成 25 年度決算に基づく各指標は次のとおりで、実質公債費比率と将来負担比率は数値が年々改善されるなど、いずれの比率も財政悪化を表す国の基準を下回っています。また、産業団地整備事業特別会計については、資金不足の解消のため、未売却土地の早期売却に努めています。

あわら市は
基準をクリア
 しています

